北海道・山のトイレマップを作成して
－山のトイレマップから見えるトイレ問題－

仲俣善雄（山のトイレを考える会）

１．山のトイレマップの変遷

初代の北海道・山のトイレマップは当会設立１年後の２００１年５月に作成しました。マナーガイドと表大雪・十勝連峰トイレマップの合体版です。同年８月には東大雪・北大雪版も作成していますが、携帯トイレ回収ボックスや携帯トイレブースが設置されていない時代でした。

改定版は２００２年８月に作成、携帯トイレ回収ボックスや携帯トイレブースそしてバイオトイレが加わり、北海道のトイレ事情に変化があったことが分かります。

また同時期に「北海道の登山口トイレ情報」と称して北海道全域の登山道のある山についてリスト化したトイレ情報を作成しています。これが２代目と言ってよいでしょう。

（図－１）初版トイレマップ

登山口トイレ情報　2002.8　山のトイレを考える会

凡例：○（有り）、×（無しまたは使用禁止）、△（登山口近辺に歩いて行ける距離に有り）

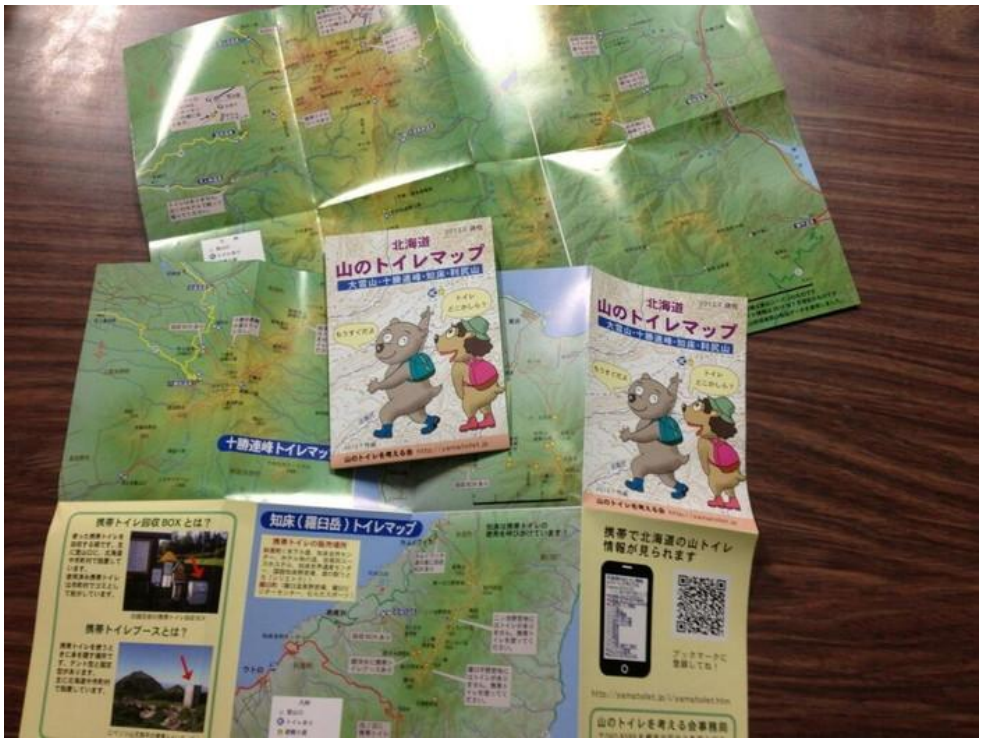
道央編

山　名	登山口名	トイレ状況 登山口	トイレ状況 山域内	登山口近辺のトイレ等
八剣山	南　口	×		
	中央口	○	×	近くに農場
	西　口	×		
朝日岳	岩戸公園	○	×	周辺は定山渓温泉
	豊林荘	×		周辺は定山渓温泉
夕日岳	定山渓神社	×	×	周辺は定山渓温泉
砥石山	中の沢	○		
	砥石沢	×	×	
	小林峠	×		
手稲山	平和の滝	○		
	滝ノ沢（金山）	×		
	山麓駅	○	○	
	北尾根	×		
奥手稲山	星置川	×	×	
春香山	桂岡	×	○	
	春香沢	×		
銭函天狗岳	銀花会	×	×	
	手稲金山	×		
塩谷丸山	塩谷駅	×	×	近くにJR塩谷駅
神威岳	百松橋	×	×	近くに小金湯温泉
烏帽子岳	百松橋	×	×	近くに小金湯温泉
定山渓天狗岳	神居橋、二股	×	×	
余市岳	赤井川	×	×	登山口への林道入口はキロロリゾート
	白井二股	×		
空沼岳	万計沢	×	○	札幌方面手前にパーキング
札幌岳	冷水沢	×	○	途中に豊平峡温泉
	黄　滝	×	×	近くに小金湯温泉
無意根山	薄　別	×	○	
	元　山	×	×	

（図－２）登山口トイレ情報

その後、トイレマップと「登山口トイレ情報」を最新の情報に修正しながら幾度となく増刷配布を繰り返して､マナーガイドとともに多くの登山者に配布してきました。

今回、新しく作成した３代目となるトイレマップは大幅な見直しをかけ、２０１３年７月に４,０００部作成しました。



（図－３）新しい山のトイレマップ

２．新しい山のトイレマップの作成方針

北海道の山のティッシュ散乱ワースト３は、①トムラウシ南沼野営地　②美瑛富士避難小屋周辺　③羅臼岳の羅臼平野営地と考えています。

今回のトイレマップは、このワースト３を含み、全国から多くの登山者が訪れる「大雪山」「十勝連峰」「利尻山」「知床（羅臼岳）」の４つの山域にターゲットを絞り、フルカラーで作成することとしました。

同時に今までの紙媒体である「登山口トイレ情報」の作成を止め、携帯電話からアクセスして誰でも山のトイレ情報を見ることができるように変更しました。

その他、作成にあたって留意した点は次のとおりです。

●胸ポケットに入るサイズとする

●国土地理院の地図データを使用し、新たに登山道を分かり易く描く

●トイレの他に回収ボックス、トイレブース、野営指定地も書き入れる。特に回収ボックスはビジターセンターに設置されているものもあり、その案内図も入れる

●トイレの無い避難小屋や野営地には「携帯トイレを使ってください」など注意喚起するためのコメントをマップ上に記述する。

●携帯トイレの使用促進を呼びかけている利尻山や知床（羅臼岳）は、携帯トイレの販売場所も書き入れる

●黒岳バイオトイレは使用協力金を明示

３．多くの人の協力で完成

原案は私が作成したのですが、山域ごとに現地を詳しく知っている人にメールで内容の確認と改善要望を聞きました。

環境省の自然保護官、北海道の総合振興局担当者、市町村の担当者、山岳会会員、ガイドなど多くの人に協力していただきました。みなさん、興味を持ってチエック、改善意見を積極的に出してくれました。これには大変助かりました。私たちが気付かない改善要望があり、可能な限り反映しました。ほぼ１００％自信を持って、精度の高いトイレマップが作成できたと思っています。

また、編集、図版作成、デザイン、ＤＴＰ作業は「北海道の夏山ガイドブック」の著者である菅原靖彦氏がボランティアで協力していただきました。菅原氏のデザイン、構成で素晴らしいトイレマップを完成することができました。

当会ホームページや当会会員メーリングリストなどで完成アナウンスした直後に北海道新聞と朝日新聞から取材があり、新聞記事となりました。マスメディアによる広報は当会が望むところであり、取材に小躍りしました。

3年(平成25年)7月30日(火曜日) 16版 第4社会 28

山のトイレ地図 完成

十勝連峰など400部を無料配布

山岳関係団体や個人でつくる「山のトイレを考える会」（岩村和彦代表）は、道内の人気山岳地のトイレ情報を網羅した「北海道山のトイレマップ」を完成させた。

マップはB4判八つ折り表裏オールカラー。大雪山系、十勝連峰、知床、利尻山の4山域の地図に通常のトイレ、携帯トイレブース（携帯トイレ使用時に身を隠す場所）、携帯トイレ回収ボックスの位置を明示した。

岩村代表は「登山者が多い山域ではトイレのくみ取り期間を延ばせるよう、トイレで用を足した紙の持ち帰りにも協力を」と話す。

4千部作製し登山者向けに無料配布。登山用品店などに順次、他山岳関係の行事などで配布し周知を図る。

問い合わせは事務局の愛甲哲也さん（北大大学院農学研究院准教授）の研究室☎011・706・2452（ファクス兼用）へ。

出来上がった「北海道 山のトイレマップ」

2013年(平成25年)8月4日 日曜日 朝日新聞

4山域トイレ地図

マナー向上呼びかけ

「考える会」作製、無料配布

登山愛好グループや個人で作る「山のトイレを考える会」が、道内の人気山域のトイレマップを作った。登山者の増加で山のトイレの問題が悪化する中、マナーを守ってもらおうと4千部を無料配布している。

カラーのB4判で折りたためる山のトイレマップ

マップは大雪山、十勝連峰、利尻山、知床（斜里岳）の4山域で、山小屋や野営地、登山口などを中心とするトイレの位置と、携帯トイレブース（囲い）、携帯トイレ回収ボックスの位置を記載した。同会の岩村和彦代表は「トイレのある場所でも、くみ取り期間を延ばしてトイレを長く使うために、紙は持ち帰ってほしい」と話す。

マップは登山用品店や各地のビジターセンターなどに置くほか、希望者には配布し、同会のホームページから印刷することもできる。

また同会では9月8日を「山のトイレデー」として、主要登山口などでマナー向上の呼びかけやトイレ紙回収などの活動を行う予定で、協力してくれる仲間を募集している（20日まで）。

申し込み、問い合わせは事務局の愛甲さんへ。電話・ファクス011・706・2452、メールhokkaitoilet@yamatoilet.jp、ホームページhttp://www.yamatoilet.jp/。（吉住遼一）

（図－４）トイレマップ完成の新聞記事

４．山のトイレマップから見えるトイレ問題

今回のトイレマップをじっくり見ると、北海道の山のトイレ問題が見えてきます。ただ単にトイレマップを登山者に配布するだけでなく、トイレ問題解決の糸口となる課題が見えてくる思わぬ効果がありました。

（１）大雪山トイレマップ　　※マップは〔別紙〕参照

・天人峡温泉には５年ほど前まで公共のトイレがあったのですが、現在は撤去され

登山者は温泉ホテルのトイレを借りなければなりません。温泉ホテルは３軒あり、訪問して確認した結果、３軒ともマップにその旨を記載することを快く了承していただけました。

・表大雪東側エリアの登山口である銀泉台、大雪高原温泉は回収ボックスの空白地となっていて、携帯トイレを使用する登山者にとって改善して欲しい課題です。

・東大雪で登山者が多いニペソツ山と石狩岳の登山口にはトイレと回収ボックス、そしてニペソツ山には携帯トイレブースがあり、その維持管理も行き届き安心して登山できます。

今まで回収ボックスに鍵が掛かっており、トイレマップにも鍵番号（530）を明示していましたが、２０１３年には鍵は外してありほっとしています。ゴミ投棄も危惧されますが、要望に対応していただいた十勝総合振興局に感謝します。

（２）十勝連峰トイレマップ

・美瑛富士避難小屋にトイレが無いため、排泄物やティッシュが散乱している問題については当会設立時からの課題です。避難小屋へのトイレ設置については乗り越えなければならないハードルが高いことから、次善の策として携帯トイレ回収ボックスを白金温泉に設置することを要望したいと思います。

・回収ボックスは吹上温泉の白銀荘前一箇所であり、あまりにも少ない。前記、白金温泉のほか十勝岳温泉にも回収ボックスの設置を検討していただきたい。

（図－６）十勝連峰トイレマップ

（３） 利尻山トイレマップ

利尻山の山中にはトイレがありません。利尻山登山での携帯トイレ利用促進施策は２０００年から官民あげて取り組んだ結果、全国の登山者にかなり浸透し、定着化しつつあります。

この取り組みを引き続き支援する意味から、今回のトイレマップに掲載することとしました。

（図－７）利尻山トイレマップ

（４） 知床（羅臼岳）トイレマップ

・世界自然遺産でもある知床の山中にトイレはありません。環境省や地元自治体では２００８年から携帯トイレの普及活動を実施しています。

回収ボックスや簡易携帯トイレブースの設置、携帯トイレ販売体制の確立など、いろいろな施策に熱心に取り組んでいることがトイレマップから知ることができます。

・２０１３年に銀冷水野営地に固定式携帯トイレブースが設置されました。登山口から近く維持管理が比較的容易な野営地に設置して、成果や問題点の洗い出しをする計画とのことです。一番問題である羅臼平には設置されませんでしたが、次

のステップにつながる大きな進歩と期待しています。

・縦走路の登山口であるカムイワッカ湯の滝にも回収ボックスが設置され、また携帯トイレの販売場所も多く、入手され易くなっており、携帯トイレの本格導入に向けた環境が整いつつあります。

利尻山に続き、地元の関係者の努力により成功することを願っています。

（図－８）知床（羅臼岳）トイレマップ

５．行政への要望事項

２００１年に作成した初代トイレマップと比較すると、この１３年間でバイオトイレ、携帯トイレ回収ボックス、携帯トイレブースの設置など山のトイレ問題を解決するための施策が北海道のいろいろな山岳エリアで実施されている事が分かります。

これらは、環境省、北海道庁、地元市町村など行政の問題解決に向けた取り組みと登山者の協力により少しずつ改善が進んできたものと敬意を表したいと思います。

山のトイレデーで登山者にマナーガイドやトイレマップを配布すると「携帯トイレを持っています」「用を足したティッシュは回収しています」など登山者のマナー意識が、以前よりかなり高くなってきたことを強く感じます。

しかしトイレマップを見ると、携帯トイレを使用する登山者に対応した対策がとれているかと言うと残念ながら、そうとは言えません。

山のトイレを考える会として行政に次の施策の実施を要望します。

●携帯トイレ回収ボックスを次の登山口に新たに設置して欲しい

・白金温泉　・十勝岳温泉　・銀泉台　・大雪高原温泉

●携帯トイレブースを羅臼平野営地に設置して欲しい

●回収ボックス、携帯トイレブースの維持管理の徹底、そして利用者数把握、利用者のアンケート調査などによる要望把握をして欲しい。データがあってこそ、より多くの登山者が利用し山岳環境の改善につながるものと考えます。

６．トイレマップで北海道の山を綺麗に！

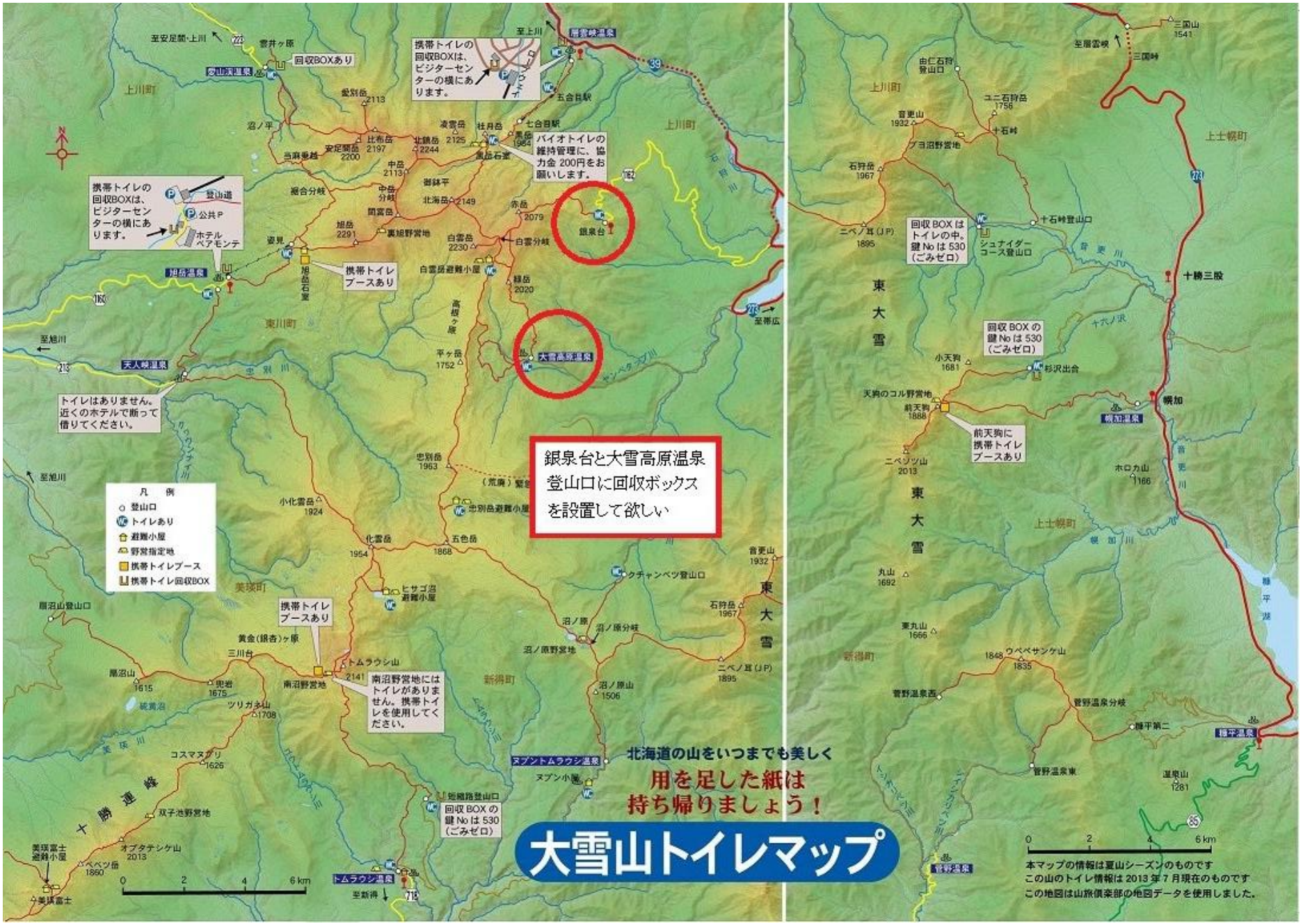
山のトイレマップは早めに多くの登山者に配布しないと、たちまち内容が陳腐化してしまいます。昨年は、当会の会員、山岳会、アウトドアショップ、ビジターセンター、登山者、山のトイレデーなどで約２５００部配布しました。

新聞発表されてから、入手依頼が続々とありましたが、一過性のものとならないようにしなければなりません。

２０１４年は出来るだけ多くの登山者に配布するような対策を講じたいと思います。待ちの姿勢ではなく、当会から山岳会、山岳ガイド、アウトドアショップ、ビジターセンター等に積極的に送付して、広く配布してもらうように働きかけをしたいと考えています。

北海道の山で排泄物や用を足したティッシュが一日でも早く無くなることを夢見て、今後も地道に活動を続けたいと思います。

以　上


携帯トイレの回収BOXは、ビジターセンターの横にあります。
回収BOXあり
携帯トイレの回収BOXは、ビジターセンターの横にあります。
バイオトイレの維持管理に、協力金 200円をお願いします。
携帯トイレの回収BOXは、ビジターセンターの横にあります。
携帯トイレブースあり
トイレはありません。近くのホテルで断って借りてください。
銀泉台と大雪高原温泉登山口に回収ボックスを設置して欲しい
凡例
登山口
トイレあり
避難小屋
野営指定地
携帯トイレブース
携帯トイレ回収BOX
携帯トイレブースあり
南沼野営地にはトイレがありません。携帯トイレを使用してください。
回収BOX の鍵 No は 530（ごみゼロ）
北海道の山をいつまでも美しく
用を足した紙は
持ち帰りましょう！
大雪山トイレマップ
回収 BOX はトイレの中。鍵 No は 530（ごみゼロ）
回収 BOX の鍵 No は 530（ごみゼロ）
前天狗に携帯トイレブースあり
本マップの情報は夏山シーズンのものです
この山のトイレ情報は 2013 年 7 月現在のものです
この地図は山旅倶楽部の地図データを使用しました。

〔別紙〕